

研究

陸運調整の實際 (一一)



武若時一郎

第三節 新規設備の採用 (承前)

(三) 標準容器と容器専用車

一九三四年一月の「容器時報」によれば、フランスの大鐵道系統は、一九三三年五月一日現在に於いて、容器二四九箇を所有し、猶ほ一一九箇の註文を發してやがて使用に供するものと豫想せられ、更にまた近き將來に於いて二九八箇の購入を考慮してゐると傳へられてゐる。その當時、鐵

道に於いて使用中の私有の容器は二、二〇〇箇餘を算してゐた。これ等私有の容器は主として、雜貨の運搬に使用されるものであつて、その運搬能力は五〇〇疋から五、〇〇〇疋まで種々様々であるが、中には合理的に使用すれば五、〇〇〇疋を超過しても差支ないものもある。外法寸法もまた區々であつて、長さは一・五米乃至五・四米、幅は〇・六乃至二・六米、高さは有蓋の容器にあつては一・一米乃至二・九米であつて、無蓋の容器にあつては〇・七六米乃至一・六

米となつてゐる、しかしながら現在のところでは容器の使用が一様に廣く行はれるに至つてゐる、とは云ひ得ない状態にある。最初容器は特殊の貨物に對する荷造材料の節約をなすことを目的として使用されたに過ぎなかつた。その後、その使用が國際運輸にまで擴張せられ、次いでこれを國內運輸に使用せんとする要求が強くなつて來たのである。

鐵道會社の所有に係る新式の容器や新たに登録された私有の容器は國際標準容器委員會及び國際鐵道聯合會によつて定められた技術的條件に準據したものである。「北部鐵道」は、一九三三年には有蓋容器八八箇、絶縁容器二箇、無蓋容器九七箇（その中三七箇は折疊式）を使用してゐると云はれてゐる。これ等の容器の方法は區々であつて、國際運輸について定められた條件を一切具備してゐる譯ではない。

有蓋容器の長さは、二・三米乃至二・五米であつて、幅は大體標準容器の幅、即ち二・一五米に據り、また高さは一・五八米乃至二・二五米となつてゐる。運搬力は三廂乃至三・五廂である。二廂乃至四廂の運搬力を有する無蓋容器の寸法

は長さ一・一七米乃至四・二米、幅一・二八米乃至二・二米高さ〇・六九米乃至一・三四米となつてゐる。一九三四年三月にはこの「北部鐵道」は、八立方米の容積を有する有蓋式のジュラルミン製容器二箇を、試験的に使用することとなつたと傳へられてゐる。この容器は長さ及び幅は共に二・一五米、深さ二・二米である。

これ等の容器の重量は、六一五疋であつて、鋼製の同型容器に比し約四〇〇疋方輕くなつてゐる。運搬能力は四三八五疋である。

容器はまた、フランスとイギリス間の手荷物の急行直通便に使用されてゐる。このために三箇乃至四箇の鋼製容器が平床の貨車に積まれ、これが急行列車の手荷物車に代用されて、臨港線から本船へ直接に積換が行はれてゐる。

「パリ―オルレアン鐵道」はモロー式容器を試験的に使用してゐる。これは、容器に直接定著された折疊式の軌條を裝備してゐる。この容器はローラー型であつて、それ自身の捲揚機によつて移動し得る様になつてゐる。運搬力は二・

五甍であつて、自重は一、九三〇甍となつてゐる。長さとは幅は各々二・五四米であつて、高さは二・五五米である。この容器は、當初、肉類運搬の目的をもつて設計されたものである。「パリーリオン」地中海鐵道」は果實及び蔬菜をアルゼリアからパリーへ運ぶために有蓋容器四二箇を使用してゐる。これ等は木製の疊込式の容器であつて、運搬能力は二甍、長さは二・二八米、幅一・二三米、高さ一・五五米である。この鐵道は特定の路線に於ける混合貨物運輸を目的として、近き將來に新たに二〇箇の容器を使用に供せんとしてゐる。フランスの國有鐵道は、一九三三年に有蓋容器三箇を所有してゐた。「ミデイ鐵道」及び「アルサス・ロルレイヌ鐵道」は、一九三三年當時に於いては、未だ自己の容器を所有してゐなかつた。「東部鐵道」はその當時、無蓋容器四箇、有蓋容器十二箇を所有してゐた。何れの鐵道も容器の使用料金を二通り、即ち容積に依るものと重量に依るものとを設けてゐて、その結果、嵩高い貨物の運輸は平均價格によつて運搬されることになつてゐる。一

般に使用されてゐる。容器は三・三米乃至一三・三米を有し、三、〇〇甍乃至四三〇〇甍の重量を有する貨物を運搬することが出来る。最近一つの案が採用されて、その結果、何れの工場社も貨車を借入れて、その使用料金は運搬料數に應じて支拂得る様になつた。この施設について徵集される使用料金は、秆當り三フラン乃至五フランであつて、貨車の型式及び大きさによつて異なることになつてゐる。ドイツの國有鐵道は、容器の能率的發展と云ふことについては非常な考慮と努力とを拂つてゐる。織物、果實及び蔬菜、牛酪及びパン、罐詰及び陶器の運搬を容易ならしめるために、箱詰及び籠詰の方法が採用されてゐる。これ等の容器の或るものは、盜難を防止するため嚴重に釘付けされたものもあり、また防水布をもつて覆はれ鉛で封印を施れたものがあるかと思へば、また空氣の流通をよくすることに重きを置いて造られたものもある。一九三四年一月の「容器時報」によれば、當時鐵道は容器の重なる型式として、大體二種のものを使用してゐる。即ちその一は

三・五立方米以下の積載力を有する。小型の容器であつて、他は三・五立方米以上の積載力を有する大型の容器である。小型の容器は、無蓋式と有蓋式の二種あつて、箱型貨車の戸口から積込み得る様になつてゐるが、大型の容器は平床の貨車にしか使用し得ない様になつてゐる。過去數年間に於いて、容器運輸は非常な發達を遂げ、ケルン國有鐵道局は小型容器による運輸に勢力を集中し、フランクフルトIIアムIIマイン鐵道局は大型容器運輸にその名を馳せてゐる。最初の頃は種々の方法の小型容器が使用に供せられてゐたが、今日では大體二種の標準軌格が設けられてゐる。これ等の軌格の第一は、長さ一・五〇米、幅〇・九〇米、高さ一米、容積一・一五立方米、積載重量一、〇〇〇吨である。他の軌格は長さ一・七〇米、高さ一・二〇米、容積一・八〇立方米、積載重量一、二〇〇吨となつてゐる。

これ等の容器は、それぞれ地上三〇糎及び七三糎となつてゐて、手及び電氣移動式揚貨機によつて處理し得る様になつてゐる。

現在ドイツに於いて使用されてゐる大型容器の數は、一九三四年一月の「容器時報」によれば一一一箇を算してゐる。これ等の容器の中、九四箇は國有鐵道の所有に係り、一七箇は私設鐵道の所有に屬してゐる。これ等の雜貨運輸用の容器の外に「ウツペルタル鐵道」は石灰及び石灰石運搬専用として八〇箇の鋼製容器を使用してゐる。

ドイツ國有鐵道當局は、容器使用上の重大難點を除去するために容器交換所設置案その他の方法を研究してゐる。現在のところ、標準容器の使用は、積卸が簡便であるために新貨車抜制度の能率的運用上に於ける不可缺の要素なりと認められてゐる。容器は荷受人の引込線から荷受人の引込線へ貨物を直接運搬し、斯くすることによつて貨物上屋に於ける特殊の處理、又は途中に於ける積換の煩を避けるために、次第に多く利用される様になつてゐる。

イタリーに於いては國有鐵道は、「イタリヤ容器會社

(Societa Italiana Casse Mobili)」を設立した。拂込資本金は三〇、〇〇〇、〇〇〇リラであつて、株式の過半數は國有

鐵道が所有し、残りを各種の容器利用者の代表機關が所有してゐる。この會社は容器に關する一切の事項に對する各種鐵道の一手の代理機關であつて、鐵道による一切の貨物の容器運搬の獨專權を取得してゐる。個々の事業者は自己の容器によつて自己の貨物を運搬する權能を有してゐるが、第三者の所有に屬する貨物の鐵道運輸を目的とする容器の賃貸は「イタリヤ容器會社」の獨專權に屬してゐる。現在この會社は、ベニスにある「イタリヤ機械局」の實驗の結果を參酌し、また容器に關する國際規約に準據して試験的に一號型の容器を製作してゐる。

オランダの鐵道は、主として日用品の運搬を目的として利用される小型無蓋式の容器の使用にその努力を傾注してゐる。これ等使用中の容器は約四四〇箇に上り、その長さは〇・八米乃至一・二五米、幅は〇・九米以下、高さは〇・六五米以下となつてゐる。これ等の容器は自重四〇匁乃至五〇匁であつて、積載時の重量は約六〇〇匁となる。

スペインの鐵道は、現在のところ何れの型の容器も使用

してゐない。「スペイン容器運搬調査委員會 (Comite de Estudios Trafico con Containers)」は數種の型式の容器雜型を造つてその意見を當局に報告してゐると云はれてゐる。

スイス聯邦の鐵道は自己の容器を有してゐないが、私人の所有に屬する小型容器二五箇を國內運輸に使用してゐる。これ等の容器は有蓋ローラー式であつて、自重八〇匁、四〇〇匁乃至五〇〇匁の運搬力を有し、長さ一・二五米、幅及び高さ各々〇・七五米となつてゐる。箱型貨車によつて運搬せられ、主としてチヨコレートの輸送に使用されてゐる。

極東諸國に於いては、南オーストラリヤが他の諸國に劣らない程度に、容器事業に多大の研究を拂つてゐることが注目される。現在のところでは、それを一般の貨物運輸に應用するために必要な初度經費は、恐らく容器が片道は空のまま輸送される様なるものと思はれるから、この程度の小さな利益によつては到底償はれないことにな

るだらうと豫想されてゐる。しかしながら家具、冷凍兎肉牛酪の如き日常ありふれた貨物の處理については、携帯用の容器が多數利用される餘地がある。この種の容器が一般の貨物に使用し得ないことが云ふまでもないが……。英領マレーに於いては「聯合マレー鐵道」は標準容器の使用について實驗を重ねて居り、現在のところ二廂の容器二箇を所有してゐる。その經驗に徴すれば、この地の鐵道によつて處理される貨物は、大體において容器積みには適當でないことが明らかになつてゐる。セイロンの鐵道は同國各地に使用されてゐる軌間の不統一を克服する目的のもとに、容器専用車の利用を試みてゐる。フィリッピン群島に於けるマニラ鐵道は、砂糖、煙草の如き商品の輸送について容器の使用を考慮してゐる。しかし相當困難があるので未だ採用されるに至つてゐない。

× × ×

紅雪子

山の別れ雪雲となりて初夏の雨
 赤城裾野牛其處此處に草萌ゆる
 岩つゝじ燃え立つ朝山の鳴る
 山路迷ひ裾野黄昏れ若葉の灯
 網打てば淺瀬に騒ぐ子鮎かな
 菜の花にいつか漂ふ夕煙
 つれづれに棹させば湖に月淡し
 小鳥鳴かぬ朝なりけり梅雨近し
 筍の皮散る邊に蟻の道